

活動分野	北総部会定例会		
タイトル	筑波実験植物園木と人の出会いをつくるWEBアプリ「はなもく散歩」体験		
実施日時	令和 3年 6月 13日(日) 10時 ~ 13時30分		
実施場所	国立科学博物館 筑波実験植物園		
受講者	15名	FIC会員他スタッフ	15名

活動の内容

午前中は、NPO リトカルの開発したWEBアプリ「はなもく散歩」<https://hanamokusampo.jp> を体験会を実施しました。3グループに分け、園内の25本の木を探して「はなもく散歩」対応樹名板のQRコードをスマホで読み取り、木の音声ガイドを聴き、クイズに回答&写真を投稿し、グループ同士で獲得ポイントを競うというゲームをしました。

25本の木は園内を広く配置されており、約1時間半、広い園内をぐるっと回りへトヘトになられた方もいらっしゃいましたが「新しい観察会のスタイルだと思う。」「わかりやすくて良かった。木に親しみ始める人たちに素晴らしいツールだと思う。」「とても興味深くて、子供の学習に最適。」といったご感想がありました。

一方で「アプリの画面の動きが若干遅い。電波環境がより悪いと使いにくいのでは。」「親子で回するには樹名板のついた木同士の距離が長い。」「スマホの操作に時間をとられてしまう。」「初期設定がやや大変。」というご感想もありました。「はなもく散歩」は本年2月リリースされたばかり。今後改善されていく予定です。

午後は、筑波実験植物園の園方研究員より筑波実験植物園の簡単な紹介をしていただきました。日本国内の植物約四分の一が絶滅の危機に瀕しており、園内では植物の保護・育成を目標としているというお話を聞きました。また園が設立された45年前に植えられたセコイアの木が30mとかなり高木になっているが、世界一高いセコイア(米国)はその約4倍の高さがあるというお話も聞き、セコイアの原生林の高さを実感しました。

「はなもく散歩」マップ

「はなもく散歩」の木の紹介ページ



参加者の方の 「はなもく散歩」投稿

